仙台の都市分析図を作ろう！

担当教員：姥浦道生教授（災害科学国際研究所），　山梨裕太助手（都市・建築学専攻）
連絡先：ubaura@tohoku.ac.jp

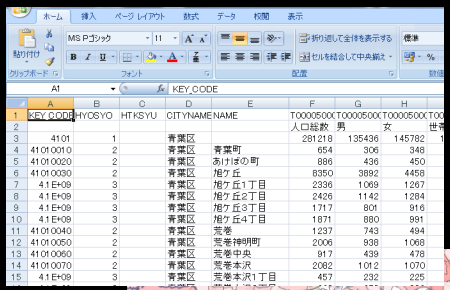
受入人数：最大8名

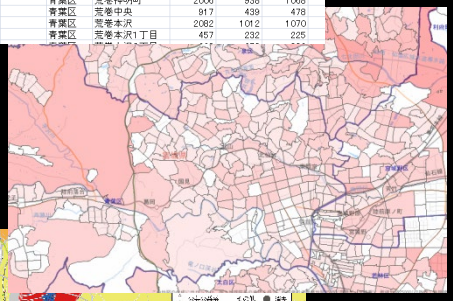
実施時期：集中講義（日程については初回講義にて受講者の要望に基づき決定）

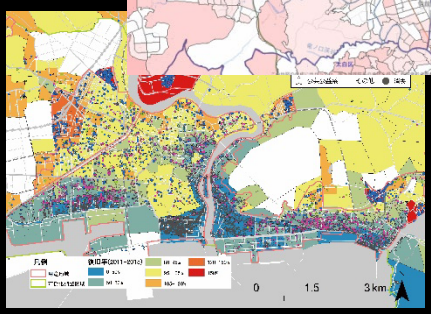
初回開始日時及び場所：10月5日（月）16:20～（場所：災害科学国際研究所405S室）

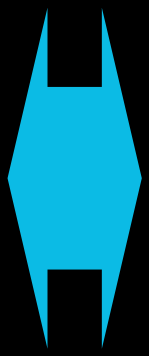
概要：GIS（地理情報システム）とは、位置情報を有するデータを管理・加工し、視覚的に図示することで、高度な空間分析や迅速な計画判断を可能にする技術である。都市を計画する際には、都市をさまざまな観点から分析・把握することが必要になるが、GISはそのための有効な手段となる。そこで本授業では、このGISを用いた都市分析を実際に行い分析図を作成した上で、それと実態都市との関係性について比較・考察することを目的とする。
具体的には、まず仙台市の「人口」「商業」「農業」等に関する統計資料等を用いて現状把握・将来予測を行った上で、その結果をGISを用いて図示し分析を行う。次に、その分析結果に基づき複数の典型地区を抽出し、現地見学を行う。そして、分析結果から見える「街の姿」と実際の「街の姿」との関係性を比較・考察し、発表する。

データ解析から見える街のすがた









現地調査から見える街のすがた